

働き続けられる職場環境を目指して！！ 育児短時間制度の活用

琉大病院看護部では育児短時間制度の活用により、多くの看護職（図1）が子育てと仕事の両立を果たしています。仕事と育児の両立を図りつつ、イキイキと働く彼女らの存在は、他の役割モデルとなり職場の活性化に繋がっています。同時に働き続けられる職場環境として、院内外から広く支持されています。

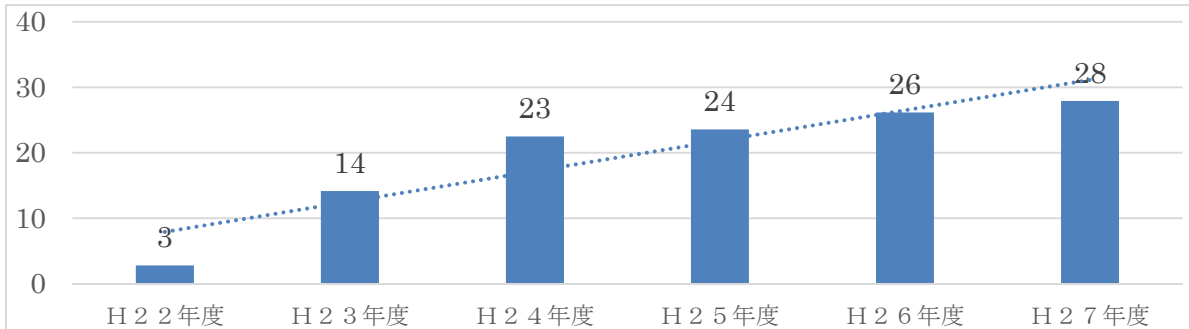


図1 育児短時間勤務者の年度別推移（月平均取得者数）

6階西病棟 加治工若菜



私は、新人看護師として当院に入職して13年目を迎えます。その間4回の出産を経験し、第二子の時から時短制度を活用しながら勤務が継続できています。現在、第四子の育児休暇取得後に育児短時間（6時間勤務）で病棟に復帰して約2か月が経過しました。毎日新しい発見があり、やりがいを感じています。

仕事と育児の両立は不安が強いのですが、育児短時間勤務の選択ができる為、安心して仕事に復帰する事ができています。病棟師長やスタッフの理解と配慮もあり、週末に子どもと過ごす時間ももて、家族の体調管理の面でも安心して仕事が続けられる為、子育てと仕事の両面において、とても充実した日々が過ごせています。

9階西病棟 花城貴子



私は就職して今日に至るまで5人の子供を出産し、育ててきました。二人目の誕生後から3年育休、時短制度が利用できるようになり、子供の成長を見ながら自分で仕事復帰できる時期を決めることができ、家族のライフスタイルに沿って仕事ができたと感じています。

時短制度を利用し、働きながら子供の成長に寄り添える生活はとても安心した心地よい時間でした。現在は、フルタイムに戻り夜勤もしていますが、子供たちは家族で協力しながら母親のいない家事を分担し、お互いに兄弟の面倒を見たりしてたくましく成長しています。

育児休業、時短制度の利用を通して育児、家庭の基礎を築くことができ、仕事を継続する自信ができたと思います。子育てしながら、働き続けていける機会を頂き感謝しています。